

A表(累計):調査対象者の受診状況表(平18~21年度実人数累計)

調査対象者		受診状況				対象者数(詳細)		
分類	対象者数	H18	H19	H20	H21	男	女	計
平成18年度 新規受診者	人数	●	●	●	●	23	19	42
		●	●	●	-	6	2	8
		●	●	-	●		1	1
		●	●	-	-	9	3	12
		●	-	●	●	3	4	7
		●	-	●	-	2	7	9
		●	-	-	●		1	1
		●	-	-	-	21	6	27
平成19年度 新規受診者	人数	△	●	●	●	47	31	78
		△	●	●	-	24	14	38
		△	-	●		12	12	24
		△	-	-		37	29	66
平成20年度 新規受診者	人数	△	●	●		52	39	91
		△	●	-		52	54	106
平成21年度 新規受診者	人数	△	●		●	177	157	334
					合計	465	379	844

B表(累計):昭和30~50年に尼崎市に居住していた者のばく露歴及び年齢階層別分類表  
(平成18~21年度実人数累計)

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	14	7	2	0	0	0	0	0	3	2	9	5
40~49歳	52	26	9	0	3	0	5	4	5	1	30	21
50~59歳	138	65	19	1	14	2	9	7	14	6	82	49
60~69歳	337	148	80	4	58	10	23	22	17	4	159	108
70~79歳	256	110	69	8	49	10	17	17	8	3	113	72
80~89歳	47	23	9	1	12	4	0	0	2	1	24	17
90~99歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	844	379	188	14	136	26	54	50	49	17	417	272

※年齢は最後に受診した受診時の年齢

C表(累計):昭和30~50年に尼崎市に居住していた者に関するばく露歴と医学的所見のクロス集計表

(平成18~21年度実人数累計)

(C-1(累計) 所見について)

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
石綿関連所見(疑いを含む)実人数	276	106	82	5	48	6	15	14	15	5	116	76
①胸水貯留	2	0	1		1							
②胸膜プラーク	206	76	70	4	33	6	11	10	11	4	81	52
③びまん性胸膜肥厚	7	1	5		1						1	1
④胸膜腫瘍	0	0										
⑥肺野の間質影(H20までの ⑤胸膜下曲線様陰影を含む)	70	18	18	1	15		1	1	4	1	32	15
⑦円形無気肺	6	1	3		2						1	1
⑧肺野の腫瘤状陰影	25	10	7		5		3	3			10	7
⑨リンパ節の腫大	25	6	10		4		1	1			10	5

※①~⑨は重複計上含む

※複数年度受診し、所見の変化が見られた場合は最終年度の所見を記載

※平成20年度までの⑤胸膜下曲線様陰影及び⑥肺野の間質影は⑥肺野の間質影にとりまとめて計上

(C-2(累計) 胸水貯留、胸膜プラーク、びまん性胸膜肥厚、肺野の間質影の所見が見られた者の年齢階層別分類表(平成18~21年度実人数累計))

①胸水貯留

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満												
40~49歳												
50~59歳												
60~69歳	1		1									
70~79歳												
80~89歳	1				1							
90~99歳												
合計	2		1		1							

※疑いを含む

②胸膜プラーク

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	1	0	1									
40~49歳	2	0	1						1			
50~59歳	30	16	5		2		3	3	6	3	14	10
60~69歳	74	25	29	1	12	2	4	3	2	1	27	18
70~79歳	81	29	30	3	15	3	4	4	1		31	19
80~89歳	18	6	4		4	1			1		9	5
90~99歳	0	0										
合計	206	76	70	4	33	6	11	10	11	4	81	52

※疑いを含む

③びまん性胸膜肥厚

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	0	0										
40~49歳	0	0										
50~59歳	1	1									1	1
60~69歳	3	0	2		1							
70~79歳	2	0	2									
80~89歳	1	0	1									
90~99歳	0	0										
合計	7	1	5	0	1	0	0	0	0	0	1	1

※疑いを含む

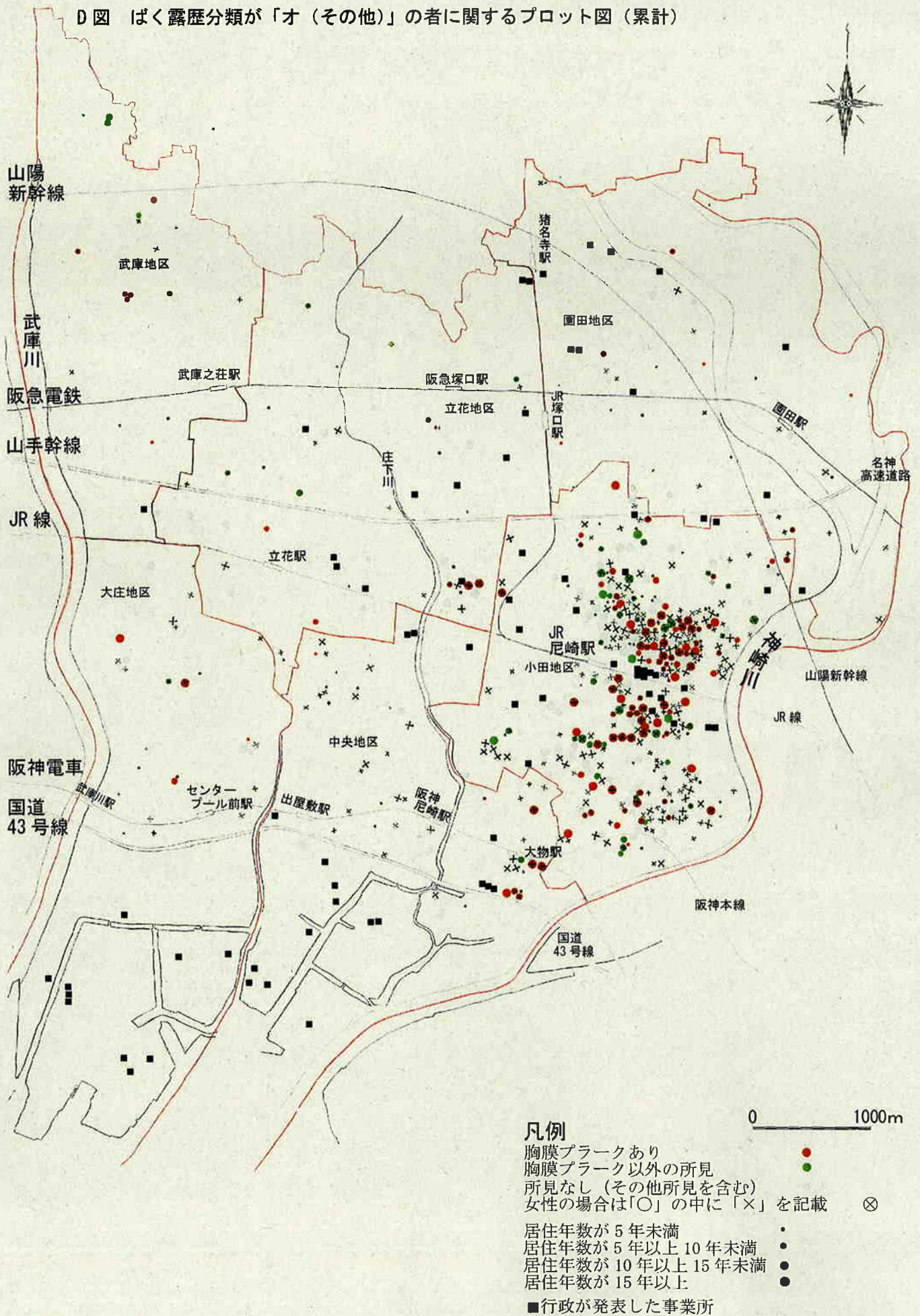
④肺野の間質影(H20までの⑤胸膜下曲線様陰影を含む)

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく露	うち女性	オ.その他	うち女性
40歳未満	1	1							1	1		
40~49歳	0	0										
50~59歳	6	1	1		1				1		3	1
60~69歳	31	7	10	1	10		1	1	1		9	5
70~79歳	28	9	5		4				1		18	9
80~89歳	4	0	2								2	
90~99歳	0	0										
合計	70	18	18	1	15	0	1	1	4	1	32	15

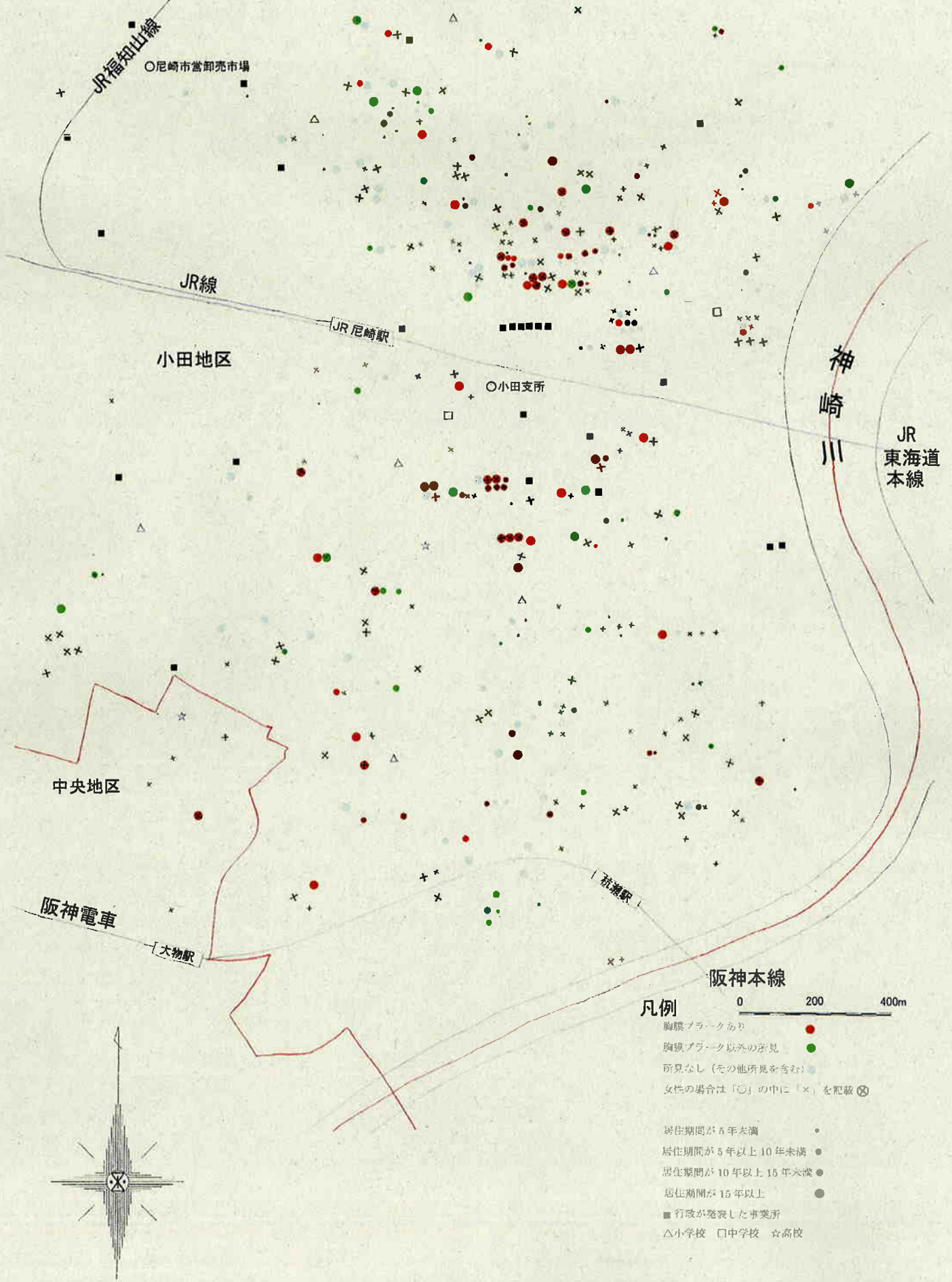
※疑いを含む

※年齢は最後に受診した受診時の年齢

D図 ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図（累計）



D図 ばく露歴分類が「オ（その他）」の者に関するプロット図（累計）



D-1表（累計）：ばく露歴分類が「オ（その他）」の者とプロット数との関係表（平成18～21年度実人数累計）

	プロット対象者数	プロット数
胸膜プラークあり	81	132
胸膜プラーク以外の所見あり	36	65
所見なし	300	452
計	417	649

※複数地域に居住歴のある者は、それぞれの地域にプロットした。

D-2表(累計):ばく露歴分類が「オ(その他)」で胸膜プラークがある町名別一覧表  
(平成18~21年度実人数累計)

	プロット数	
	胸膜プラークありの者のプロット数	全プロット数
稲葉元町		1
稲葉荘	1	1
下坂部	2	15
開明町		2
額田町	1	3
梶ヶ島		2
瓦宮		1
久々知	3	7
久々知西町	1	3
金楽寺町		4
栗山町		1
建家町		1
元浜町		1
玄番北之町		1
戸ノ内町		2
御園	1	5
御園町		1
口田中		1
杭瀬	2	2
杭瀬寺島	1	5
杭瀬南新町	2	15
杭瀬北新町	5	23
杭瀬本町	3	21
高田町		2
今福	1	10
三反田町		2
寺町		1
次屋	4	29
七松町	1	1
若王寺	1	4
小中島		1
昭和通	2	4
上ノ島町		3
上坂部	1	3
常光寺	6	31
食満	1	6
神崎町	2	11
神田中通		2
神田南通		1
水堂町		4
崇徳院	1	5
西向島		1
西昆陽		3
西桜木町		1
西川	6	26
西長洲町		11
西難波町	2	14
西本町		2
西立花町		4
善法寺		1
大庄西町		6
大庄中通	3	4

	プロット数	
	胸膜プラークありの者のプロット数	全プロット数
大庄北		4
大西町		1
大島		3
大物町	2	7
築地		4
猪名寺		2
潮江	6	69
潮江1丁目	2	30
潮江2丁目	3	24
潮江3丁目	1	11
潮江4丁目		2
長洲西通	1	9
長洲中通	8	32
長洲中通1丁目	4	14
長洲中通2丁目	1	9
長洲中通3丁目	3	9
長洲東通	11	23
長洲東通1丁目	10	13
長洲東通2丁目	1	4
長洲東通3丁目		2
長洲本通	1	11
塚口町		2
塚口本町		3
田能	1	1
東園田町	1	10
東七松町		1
東大物町		1
東塚口町		1
東難波町		7
東本町	3	4
道意町		1
南七松町		2
南塚口町	2	6
南武庫之荘	1	7
尾浜町	4	12
浜	31	87
浜1丁目	6	17
浜2丁目	21	59
浜3丁目	3	9
浜田町		1
富松町		3
武庫の里		2
武庫元町	3	5
武庫川町		2
武庫町		1
武庫之荘	2	5
武庫之荘本町		1
武庫豊町	1	2
蓬川町		1
北大物町		2
名神町		1
立花町	1	2
総計	132	649

石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者の診断経過について  
(平成18～20年度実人数累計)

平成18～20年度に石綿の健康リスク調査に参加し、医療の必要があると判断された者がその後、医療機関でどのような診断を受けているのか確認するため、本人から承諾を得て医療機関に照会を行った。

照会を行った結果、中皮腫0人、肺がん3人、石綿肺1人、良性石綿胸水0人、びまん性胸膜肥厚疑い1人と医療機関で診断されている。ただし、1名は転居で追跡できなかった。

このうち、石綿救済制度で認定された者が2人、労災制度で認定された者が1人であったことが本人や家族への問い合わせにより確認された。

平成20年度に報告した「平成18年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過」で、b 肺がんの内の オ. その他 の1名は、その後の詳細な問診調査の結果、家庭内ばく露の可能性が認められたため、今回、ウ. 主に家庭内ばく露 へ変更している。

平成18年度から平成20年度に健康リスク調査へ参加し、医療の必要があると判断された者のその後の診断経過

	計	うち女性	ア.主に 直接職歴	うち女性	イ.主に 間接職歴	うち女性	ウ.主に 家庭内ばく露	うち女性	エ.主に立入・ 屋内環境ばく 露	うち女性	オ.その他	うち女性
対象者	12	5	4		3		3	3			2	2
石綿関連疾患(疑いを含む)	5(1)	1	3		1(1)		1	1				
a 中皮腫												
b 肺がん	3	1	2				1	1				
c 石綿肺	1		1									
d 良性石綿胸水												
e びまん性胸膜肥厚	1(1)				1(1)							

※( )は、疾患疑いを再掲

※肺がんについては、石綿以外の原因によるものも含まれている。